

## 公聴会 公述人の発言の要旨

NO.	氏名	発言の要旨
1	公述人 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北印旛沼区域、隣接する水田地帯における鉄道・道路の建設によって、サンカノゴイほか貴重とされる多くの鳥類の生息環境が悪化し、生息が危ぶまれることは明白。「事業者の実行可能な範囲で回避・低減できる。」とする判断は容認できない。この区間における路線の変更等計画の変更を行う必要がある。</li> <li>・ 「工事実施時及び供用後に本事業により新たに影響を与えるおそれが発生した場合には、影響の程度、内容を確認の上、関係機関と協議し、適切な対応を図る。」としているが、事業そのものが重大な影響を及ぼしていることが認められた場合に、鉄道や道路施設を撤去し、元の環境に戻す措置を講ずることは極めて困難。不可能と言える。準備書で影響があると認められている事項に関しては、事業が実施される前に完全に回避しておく必要がある。</li> <li>・ 中部国際空港の開業、東京国際空港の利用効率向上化など航空輸送形態の多極分散化が進むなど状況は急速に変化している。こうした中で、貴重な自然を破壊してまで既存計画を遵守する必要性は認められない。印旛沼の豊かな自然が後世に受け継がれるよう、現計画の抜本的な見直しを行う必要がある。</li> <li>・ 日本を代表するトキが絶滅するのをなぜ防げなかったか。同じことを繰り返してはならない。</li> </ul>
2	公述人 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備書によれば、オオタカの営巣林候補地 7 地区の内 2 地区は影響を受けるが 5 地区は影響を受けないので、営巣可能域に対する影響は小さいとされている。これは、とても環境保全の立場に立った施策とは考えられない。</li> <li>・ オオタカに関しての環境保全措置として、「土地の改変を段階的に行う」としているが、十分な環境保全措置と言えるか疑問である。</li> <li>・ オオタカなど希少鳥類への影響のある箇所は、ルート変更や地下トンネル化などの保護対策をとるべきだ。</li> <li>・ 松崎地区には湧き水を水源とする浅間池があり、住民に親しまれている。この地区のトンネル工事により枯れてしまうのではないかと心配されている。北須賀から八代の水田地帯では、橋脚工事や道路の盛土による地下水への影響が心配されている。地下水への影響調査と評価をするべきだ。</li> </ul>

3	公述人 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛翔鳥類の衝突、騒音が鳥類の生息に及ぼす影響などに関しては、「知見が乏しいために、定量的な予測は実施でき」ず、「定性的に…予測を実施」し、「知見の少なさ等から定性的かつ不確定性をもった予測及び環境保全措置を行う内容」ととどまるとしているが、これは、希少鳥類の生息環境を確実に守れる保証はないと言っているに等しい。</li> <li>・ 路線の変更か地下トンネル化を要望する。科学的に十分な根拠もなしに「高さ2メートルの防音壁」で済ませようとする姿勢は許しがたい。</li> <li>・ 「工事実施時から供用後において事後調査を実施し、その効果の確認や新たな知見の収集に努め、環境への影響をできるだけ少なくするよう努力」すると言うが、希少鳥類の生息に重大な影響が出た場合、その責任は誰が取るのか。</li> <li>・ サンカノゴイは、今、北海道で二、三カ所繁殖の可能のあるところがある。それ以外は、北印旛沼だけである。かつて、琵琶湖湖畔で十つがい弱繁殖していた。湖岸に道路ができたらゼロになった。北印旛沼に交通量の多い状況がつけられたならば、必ずいなくなる。</li> <li>・ 事業の最高責任者は知事である。知事は最終的に知事意見を出すのだから、その際「事業者の見解」の不十分さを完璧に克服されたい。</li> </ul>
4	公述人 D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この地域は県内どころか日本でも屈指の野鳥の宝庫だ。そういう貴重なところを迂回することなく、ど真ん中を貫通していることが問題だ。</li> <li>・ 対策として、葦原を近くに造成すると言うが、順調に育成して広い葦原になる保証はない。仮にできたとして、希少鳥類がそこを繁殖地として選ぶか保証がない。代替地を造るというだけでは無責任だ。</li> <li>・ 供用後2年間事後調査を行うと言うが、その判定基準が不明確だ。</li> <li>・ 見解書によれば、「本事業が成田国際空港の交通の便を改善し、地域活性化にも資する意義深い鉄道」とあるが、鉄道は赤字になる可能性が大である。</li> <li>・ 豊かな自然を子や孫たちに残したい。大きな負債や借金ばかり残るのではと心配だ。</li> </ul>